

CONTENTS



004 職人探求道 第2回 KAMSABILL/Ur Cream 文／飯野高広

006 【コンパス】足形計測の画期的システムiD-FOOTで自分だけの1足を!

008 【マルニジーンズ】妙高の大自然が育むマルニジーンズ

010 【DISTRACTION】作りたいから作る! その共感を着る!

012 革靴女子 文／鈴木理也

013 【WHEEL ROBE】スタイルは変えずに、レザーを変える
ウィールローブの新しい提案のカタチ

014 【STUDIO D'ARTISAN】日本最初期の力織機で生み出されるデニムG3

016 【GODSUNS】混沌としたこの世界に一石を投じるアイテム

020 【SHAKEHANDS】“革の品位”を身につける愉悦

021 雨の日でも足元をきちんと見せたいあなたに 文／飯野高広

034 【アスティ】「スタンダード」「クラフトマンシップ」「コダワリ」と
三位一体のレザーメッシュアイテム“AMUAMU”登場!

036 【TOSS】TOSSのレザースニーカーにカラフルモデルが登場!

038 【THE STRIKE GOLD】サステナビリティを意識した
現代的なジーンズが完成

040 UPDATE&TOPICS

043 しなやかレザーで行こう! 文／山田純貴

054 【robita】日常生活に革を取り入れて時間の経過を楽しむ

055 特集 自信作の理由

080 【JACKSON BROTHERS】限定30個のジャクソンズウォレット

086 イラストルポ 行ッテ、見テ、知ルブプレ! イラスト・文／アベ マナミ

088 自分の靴を自分でつくる人 文／鈴木理也

092 ジビエレザーってどんな革? 文／西牧正晴



表紙の写真／鶴田智昭 (WPP)



雨の日でも 足元をきちんと 見せたいあなたに



梅雨時にいつも頭を悩ませるのが足元のお洒落。
雨でビショビショになると、革靴は中の湿気が倍増し足も気分もジメジメだ。
そしてアフターケアも何かと面倒。かと言ってスニーカーやラバー製の靴を
履きたくない・履けないシーンもまだまだたくさんある。
そんな時に役立ちそうな革靴を今回は一気にご紹介。
古典的な名品から技アリの最新作、更には快適性を保つのに重要なパーツまで、
多面的に探究し、革靴の魅力を再確認したい!

文／飯野高広

写真／各メーカー、ブランド 藪崎 大 (P26-30)、鶴田智昭 (P31-32 ヴィブラムジャパン取材)

雨の日でも
足元をきちんと
見せたいあなたに

REGAL
04VRCH
¥44,000

☎リーガルコーポレーション ☎047-304-7261
https://base.regal.co.jp/

底面に開口部を設けることで、防水性と透湿性が両立する
GORE-TEX SURROUND® プロダクトテクノロジー搭載。
その性能を妨げないよう、アッパーにも厳選した銀付
きレザーを使用。

REGAL Shoe & Co.
819SDFK11 SCB
¥50,600

☎リーガルコーポレーション ☎047-304-7261
https://base.regal.co.jp/

スニーカー世代への訴求を狙った
リーガルの別働隊が放つ重厚な一
足は、アッパーを型押しレザーと
することでカジュアル感を演出。
ライニングはGORE-TEXファブ
リクス、ソールもVibramのラバー
ソールなので雨にも減法強い。



KOTOKA
古都ホールカット KTO-6000
¥29,700

☎KOTOKA https://nara-shoes.jp/kotoka/

ライニングなしの真正一枚革仕様のホールカット。そのアッパーは革の芯
にまでワックスを入れ揉み仕上げた兵庫県産「たつの蠟引きレザー」だ。
もちろん撥水性は抜群で、履き込むと色の濃淡もジワジワ生じてくる！



ASICS RUNWALK
MB187G G-TX
¥26,400

☎アシックスジャパンお客様相談室 ☎0120-068-806

顔立ちこそトラッドなローファーだが、底面を中心に同社のスニーカー
の最新技術を惜しげもなく投入した
意欲作。GORE-TEXファブリクスの
ライニングなので梅雨時も足元の
ジメジメとは無縁。地面からの突き
上げ感が少ないのも魅力。

ASICS RUNWALK
MB186G G-TX
¥29,700

☎アシックスジャパンお客様相談室 ☎0120-068-806

新しいワークスタイルに対応す
べく、レザースニーカーのテイ
ストを巧みに取り入れたダブル
モンク。ライニングにはGORE-
TEXファブリクス、中敷はオー
ソライトそしてかかとには衝撃
緩衝材GELを採用し、今日的な
快適性を追求。



雨でも履ける汎用性こそ
時代が革靴に求める性能

「ゴールデンウィークを過ぎては
らくするとやって来る、厄介な梅雨
シトシト雨が降り続けるだけでなく、
以前の夕立ちが過激化したような
『ゲリラ豪雨』も突如襲ってくるし……
：農作物の成長や飲み水の確保に雨
は必要と頭では分かっているけれど
気分が滅入る。そして毎年こうも悔
しがるのだ」「ああ、お気に入りのあ
の革靴が、今日もまた履けない！」。

ただしここ数年は、そんな悩みが
若干ではあるが薄れている感もある。
以前に比べ「天候に左右されずに履
ける」をテーマとした革靴が、わが国
の市場に色々出回るようになったか
らだ。これには正直、革靴とくに紳士
靴が目下抱える大きな課題。相対的
な需要減が背景にあるのも事実。ク
ールビズの開始と定着を契機にした
オフィスウェアのカジュアル化の進
展は、かつては仕事需要が大豊田だっ
た革靴市場を急速にシユリンクさせ
たし、団塊世代の引退で当のビジネ
スマンの総数も今後減り続けること
が避けられない。そしてコロナ禍での
在宅勤務の定着が、それらにさらなる
追い打ちをかけ……書いていて悲
しくなるが、もはやビジネスパーソン
に従来の革靴は「平日の必需品」では
ない。一方で世間を見渡せば、従来暗
黙の了解だった「垣根」や「境目」が
徐々に低くかつ曖昧になっている。男
女の役割を筆頭に、オンとオフの日
時や過ごし方、そして何気に、季節感

……、もうお気付きだろう。それら
に対応するには何より、ボダーライ
ンを意識させない「汎用力」が求めら
れ、革靴もそこに生き残りの活路を
見出したいのだ。つまり、「天候を気
にせず履ける」ことは時代が求めたこ
れからの革靴の必然であるとともに、
「仕事でも遊びでも使える」「性別に関
係なく履ける」革靴と同種の感覚で
産み出されているわけである。
乗用車にたとえれば、ここ20年で
人気がフォーマルな4ドアセダンか
ら、誰もが運転でき都会も高速道路
も、そしてちょっとした悪路も難な
く走れ、結果としてトータルなガソ
リン代も減らせるハイブリッドなS
UVに完全に移行したのと似た傾向
が、革靴にも起こりつつあるのだ。そ
んな雨に「も」強いマルチパーパス感
を出すべく、従来のものからさまざ
まな要素を変化させている。もっ
と顕著なのは底材だろう。雨水を吸
わず取り扱いの容易なラバーソール
の革靴が従来に比べ大幅に増えてい
るのは明らか。それもハロゲイトの靴
に用いられているダイナイトソール
やヴィブラムの「カラルマート」(タン
クソール)のような古典的名作だけ
ではない。アシックス「ランウオーク」
やJINTOのものや、後のページに
あるクロケット&ジョーンズの「シテ
イソール」のような、ブランドの完全
オリジナル品も開発・搭載される例
が歴然と多くなってきた。これらは
雨天時にマストな耐水性やグリップ
力を充分確保するとともに、従来の
ラバーソールでは成し得なかった軽



JINTO
SMK302T BLACK
¥33,000

☎宮城興業 ☎0238-47-3155 http://miyagikogyo.co.jp

数多くのOEMやパターンオーダーで鍛えられた国産メーカーの堅実な作
品。撥水性とお手入れの楽しさを両立させた銀磨りキップのアッパー、グリ
ップ力と耐磨耗性に優れたラバーソール、いずれも同社のオリジナル品だ。



MADRAS
M5001G RED
¥33,000

☎マドラスお客様相談室 ☎0120-30-4192

ラテンテイスト全開のマドラスらしい、スバルタンな赤ス
トレートチップ。採用したMICHELIN WINTERソールは
タイヤメーカーの作品だけあり、冬だけでなく梅雨時にも
安定感抜群。ライニングはGORE-TEXファブリクスだ。



HARROGATE
HOLBORN
¥30,800

☎マルヒロ https://harrogate.jp

日英のデザイナーとモデリストが企画シ
ンドの輸出向け工場で製造するハロゲイト。こ
のプレントウもアッパーがフレンチカーフ
で、ダイナイトソールをグッドイヤー製法で
底付けしたお約束通りのミニマルな一足だ。

HARROGATE
EUSTON
¥30,800

☎マルヒロ https://harrogate.jp

ベーシックなプレントウでも右のもの
に比べカジュアルに見えるのは、丸
みのあるトゥシェイプとコバにスト
ームウェルトが加わったお陰か？ この
ようにモデル次第で彫削減を絶妙に変
えてくるのが、ハロゲイトの真骨頂。



～ 春夏は柔らか革小物の季節 ～

しなやかレザー で行こう!

春夏シーズン到来、
これを機に財布や鞆などの革製品を買い替える方も多いのではないかな？
そこで今回は「しなやかレザー」に注目して深掘りしてみたい。
単に“しなやか”といっても人の感じ方はそれぞれ。
革においても元々しなやかなものから、
使っていくうちにしなやかに変化するものまでいろいろ。
ここではエイジングされずとも、すでにしなやかさを
特徴とする革とその製品を中心にご紹介する。
あわせてしなやかレザーに関するちょっとしたトリビアもご紹介しちゃいます。

文／山田純貴 写真／各メーカー・ブランド、鶴田智昭（WPP）

Belly ベリー

牛革は年齢や性別などで革質が異なり、それにともない名称も変わるが、部位ごとの名称もあり、このうちのベリーは腹部の皮、または革を指す。ほかの部位に比して薄く、繊維密度が低いため強度は劣るが、伸縮性は高く、柔らかい。また、シボが大きく、シワなどが多いのも特徴だ。製革時、牛革は多くの場合、1頭分を腹部中央で切り開く（腹割り）ため、ベリーの利用面は小さくなり、ゆえに用途が限られる傾向にある。たとえば鞆の裏打ち材などに多用されているが、ワイルドな風合いをいかし、あえて製品の外装に使用するケースもある。



ドンブラコ「D-CW01」
¥15,400
◎ドンブラコ
2020年春スタートの国産ブランドによる、アウターパーツ（全9色）とインナーパーツ（全4色）の自由な組み合わせを可能にしたミニ財布。そのアウターパーツの表版に、美発色と和紙のような質感が特徴の伊・イル・ボンテ社製「マヤベリー」を採用した。W9×H8cm。

アウターパーツ裏面に綿オックスを、ボックス型コイン室などからなるインナーパーツにヌメ革を採用。紙幣は折らずにコイン室下に収められる。

ざまある。たとえばシェービング加工で薄く剥かれた革は多いし、加熱&薬品などの縮み加工によるシュリンク系、二次的加脂が施されたオイルアップ系、ミョウバンなめしなどによるナッパ系は代表格といえる。なお、一般に流通しているレザーは植物由来のタンニン系と、金属溶剤でなめされたクローム系に大別できるのだが、前者では硬質で腰の強い革になるのに対し、後者では柔軟に仕上がることから、しなやかレザーにはクロームなめし、またはタンニン×クロームのダブルなめしが採用されているケースが少なくない。

しなやかレザーは伸縮性に富むため巾着など袋物の材料として活用されているほか、軽量で肌当たりがやさしいとあって服飾用としても多用されてきた。それは現在でも変わらないが、ニーズの多様化に製造技術の向上が相まって、昨今ではさらに多様な革製品に使われるようになり、消費者にとって喜ばしくも選択肢がさらに増えた状態にある。もちろんブライドルレザーやコードバンのような硬質な革を使い込んで、しなやかに化けさせるのも革の楽しみ方のひとつだ。が、革好きなら、それらとは異なる柔軟さと風合いをもつしなやかレザーのアイテムにもコダワリたいところ。とりわけ春夏の、この時期には薄く軽やかなしなやかレザーは使い勝手がよく、出番となるシーンもさまざまあるはず、と納得したら、これを機に愛でる革のリストにしなやか系を加えてみよう！

スロウ
「イングラサット ネックウォレット」
各¥22,000
◎スロウ自由が丘店
新タイプの財布として注目されているネックウォレットをスロウが作ると、ひと味違うモノに。欧州産ベリーの原皮を伊・トスカナ地方にてフルベジタンでなめし、ヌバック調に仕上げたレザーは使うほどに、さらに色&ツヤを深めていく。ショルダーは着脱可。W9.5×H10cm。



ジップ付きコイン室やカード室3室など計9室を搭載。容量たっぷりなうえ、出し入れもスムーズな使い勝手のよい作りだ。写真はブラック。

キャンプライフにも似合うキャメル



グレーを帯びたブラウンのトープ



ネイビーはエレガントな印象



軽く、しなやかだが丈夫であるうえ、クイルマークが腰回りを個性的に見せるオーストリッチレザーはウエストベルトに適した素材だ。



ジャン・ルソー「ウエストベルト」
¥96,800
◎アトリエ ジャン・ルソー
仏・ブサンソンの名門ジャン・ルソーは、なめし工場も所有する時計バンドの最高峰。本品はオーストリッチのトップグレードを使い、同社の熟練職人が手技を駆使して作り上げたオーダーメイドの極上なウエストベルトだ。幅30mm。ベルト長は採寸により、個々人に対応。



Ostrich Leather オーストリッチレザー

ダチョウ（＝オーストリッチ）はアフリカ原産の現生鳥類最大種。すでに野生は希少で、多くは食肉、食卵、羽根、皮革の供給が目的の家畜だ。長らく南アフリカが独占的に畜産してきたが、近年、日本を含む各国で飼育されるようになった。その皮革の皮質は柔軟だが腰は弱く、しかし堅牢。クイルマークと呼ばれる丸突起状の羽軸跡が非常に印象的である。また、その希少性ゆえに主にラグジュアリーブランドで採用されている。なお、脚部の革はオーストレグと呼ばれ、これは丸い突起に代わる複雑な斑紋のあるエグイ表情をもっている。

革道楽をきわめたくば、
しなやか革に精通すべき

人類と皮革のかかわりがいつ始まったのかは明確ではないが、約2万年数千年前まで生存していたネアンデルタール人は、すでに毛皮を着用していたという。それは食肉の副産物で、多くは小・中型動物の柔らかい生皮だと思われる。というの、なめし技術をもたなかった彼らにとり、成牛など大型獣の生皮は硬すぎて衣服などに利用しにくかったからだ。つまり、人類が最初に利用したのは「しなやかレザー」だったはずなのだ。「しなやか」は「たわむ」「曲がる」といったニュアンスを含む言葉で、漢字にすると「撓やか」となる。ちなみに「撓む」と書けば「たわむ」と読む。そして、ここからしなやかレザーを「柔らかく、弾力と伸縮性があり、折れず、加えている力を抜くと元の状態に戻る革」と定義したいと思う。

こうしたレザーは原皮自体がしなやかであるものと、人工的に柔軟に仕上げられたものに大別できる。前者は（馬革など一部例外を除く）原皮が仔牛、鹿、羊などの小・中型動物で、日本の皮革業界では小判革と、海外ではスモールレザーと総称されるものだ。ちなみに、これらの皮革はスキン（skin）と呼ばれ（たとえば鹿革は「ディアスキン」という具合）、これに対して大型動物の原皮は、基本的にハイド（hide）と記される。

一方、原皮は硬質でも、なめしや加工で柔軟に仕上げられた革もさま

Baby Calf ベビーカーフ

カーフとは生後6カ月以内の仔牛の皮革のこと（ただし、欧米では生後6カ月～2年までの中牛の革も「カーフ」とされている）。そして、そのうちの胎児を含む生後3カ月までの仔牛の革をベビーカーフと呼ぶ。革質は成牛革に比して薄く、軽く、しなやかだが堅牢。キメは細かく、なめらかで、しっとり柔らかいうえ、傷やアザ、虫食い跡などが少ないなど利点に富むのだが、そもそも原皮の供給量が極少であることに加え、利用面が小さいがゆえに1頭から取れる革の量が少なくとあって、希少なプレシャスレザーと位置づけられている。

ガンゾ
「ベビーカーフ マチ無し長財布」
¥49,500
◎ガンゾ本店
世界最高峰と謳われるニュージーランド産ベビーカーフ原皮を、ソフト革で定評ある伊・ベッコ社が製革した極上レザーは真正の水染めアニリン仕上げによる、手に吸いつくかのようなタッチ感が心地よい。また、日本の熟練職人による薄作りも実に秀逸だ。W18×H8.5cm。



メイカーズ「TGM-12 ギル」
¥77,000
◎Deardorff
2009年誕生の国産シューズブランドが、アッパーにイタリアの名門タンナー、インカス社のベビーカーフ「レジーナ」を使って製作したジョッパーブーツ。シャフト（筒部分）を少し後傾させたことで、足馴染みをよりよくする工夫も！ レザーソール。グッドイヤー製法。



メイカーズ「TGM-11 クロウ」
¥77,000
◎Deardorff
チャッカに比して履き口高めのジョージブーツは、英国王ジョージ六世が海軍将校用に開発させたブーツが起源。伊・インカス社製ベビーカーフ「レジーナ」採用の本品では甲ラインを工夫して、スマートな履きジワが入るよう作られている。レザーソール。グッドイヤー製法。





左上／玉縁は芯材は使わず、革のみで形成。これにより、玉縁が切れた際の芯材の飛び出しを回避している。上／肩掛け時のフィット感も考慮して作られたハンドル。左／YKKの最高級ジッパー「エクセラ」に、独自に磨きをかけ、ツヤとともにスライダーの走行性も高めている。

Simone Box シモーネボックス

自社工場で製作した製品のみを直売する鞆＆革小物ショップ、万双が約10年前から使用している定番の特注レザー。仏産成牛原皮を伊・トスカーナ州サンタクローチェの某タンナーがフルタンニンでなめし、手揉みで繊維をほぐしつつシボを付け、染料で手染め。さらに数ヵ月を費やし、手技でオイルを芯通しして仕上げるという手間のかけようで、発色が美しく、使い込むと色＆ツヤが深まり、さらにしなやかに変化してプルアップの状態に至るのだ。



万双
「シモーネBOX
ファスナー付トート」
¥52,800
◎万双

卓越した技術力から、革通の高い支持を得ている万双が、エクスクルーシブレザー「シモーネボックス」を使って製作した極上品。その革の端正な表情もあって重厚なトートに見えるが、ナイロン内装などの工夫により、実は見た目に反して軽量だ。W48×H31×D14cm。

Pueblo フェプロ

P.50「ミネルバボックス ミネルバリスシオ」の項で解説した伊・バダラッシ・カルロ社の製品革のひとつ。バケッタ製法で製革された革のスムーズ面（銀面）を薄くケバ立たせることで、和紙のような表情とタッチ感を表したもので、使用前はマットな風合いだが、エイジングによってしなやかに変化し、吸いつくかのような質感に。また、色が深まるとともに起毛が寝てくることで鮮やかな光沢が出現し、まるで別の革であるかのように大化けする。

プロッター
「5穴リングレザーバイnder
フェプロ ミニ 5 サイズ」
各¥11,000
◎プロッター

軽くて薄い本革製バイnderで知られるブランドの、持ち歩き便利なミニバイnder。「フェプロ」の質感をいかすため、切り目は塗装せず、あえてケバ立ちを見せる仕上げに。リングを支える真鍮製バックプレートも、日本の職人が製作したもの。W8×H12×D1.5cm。



オールデン
「N6410 5-EYE プレーントゥ」
¥103,400
◎ラコタ

コードバンシューズで著名なオールデンだが、「クロムエクセル」も同ブランドの定番素材だ。本品でも、その革を使うことで、コードバン製に比し、よりカジュアルなたたずまいに見せている。グッドイヤー製法。「ミリタリーラスト」＆「スーパークッションソール」採用。

Chromexel クロムエクセル

米・シカゴの名門タンナー、ホーウィン社は多様な皮革を生産しているが、コードバンと並んでとくに有名なのが「クロムエクセル」だ。原皮は成牛で、なめしはタンニン×クロームのコンビネーション。それに牛脂や魚脂、植物油、蜜蝋などを調合した特性オイルを芯通しさせて仕上がった、撥水性をもつ堅牢革だ。米国ではワークブーツブランドの定番素材であり、ほかにもミリタリー系やアウトドア系など、さまざまなレザーアイテムに利用されている。



ラストクロップス
「バンディット」
各¥70,400
◎クロップーズ

本体に「ミネルバボックス」を、ベルトの表材にベルギーのマシュア社製「サドルプルアップ」を、裏材に伊・ワルビエ社の「ブッターロ」を使用。また、古織機で織られた希少な9号帆布で内装するなど、すべてがエイジング素材からなるボディバッグだ。W37×H12×D10cm。

アヤメアンティーコ

左 3色／「ミネルバボックス ボルタフォーリオ クラシコ」 各¥31,000
右 2色／「ミネルバリスシオ ボルタフォーリオ ソツティーレ」 各¥28,000
◎アヤメアンティーコ

イタリア革を使い、菖蒲智（あやめさとし）氏が作る革小物ブランドの長財布2型。左／ジップ式コイン室などを搭載する長財布。内造りはヌバック製。W18.5×H9cm。右／薄造りのL字ジップ財布。コイン室＆カード段を兼ねた中仕切りを搭載する。W19.5×H9.5cm。



Minerva Box ミネルバボックス

Minerva Liscio ミネルバリシオ

伊・フィレンツェ近郊ボンテ・ア・エゴラにあるバダラッシ・カルロ社は、中世の古書からトスカーナ地方に8世紀から存在した製革法を発見し、その技術の復活に成功したカルロ・バダラッシ氏が50年以上前に創業したタンナーだ。そしてバケッタ製法と呼ばれる、その古典的技術で製革されたのが「ミネルバ」。アルプス産成牛皮をタンニンでなめした後、染料を芯通しさせ、植物油に牛脚油などを添加させた天然油を深く加脂して仕上げる。同社のオリジナルレザーである。しっとりとした手触りで、しかしベトつきはなく、しなやかにして堅牢。あらゆる革のなかでエイジングの進行がもっとも速いという特性ももつ。「ミネルバボックス」は、その革に空打ちで浅い縮みシボを施したタイプで、「ミネルバリシオ」は品名に「Liscio（伊語でスムーズの意味）」とあるとおり、スムーズ仕上げタイプとなる。

自信作の理由

オーシャン M
¥74,800



自信作の理由

素材の風合いをいかして手仕事で仕上げられるものは、商品自体に手の温もりが感じられることはもちろんですが、ご購入後にさらに味わいが増していきお客様にとっての“一点物”に変化していくところが一番の魅力に感じます。気がつけば自然にそばにあり、手にも気持ちにもすっかり馴染みがいいと思えるには、長い時間を共に過ごした方にしか感じることができない、ちょっと切ないところも魅力に感じる部分かもしれません。「ずっとお気に入りです」と店頭で深みのある艶を帯びたオーシャンを見せていただく時お客様の笑顔が、商品のよさを物語っています。(販売／井口美津子)



LEATHER HENRY BEGUELIN

エンリーベグリン

〒マドリガル北店 ☎06-6361-0281

“オミノ”と呼ばれる小人のトレードマークが入った最高級革と職人の手仕事の結晶

1980年はじめ、イタリアのトスカーナ、エルバ島で友人同士でリサイクルパーツをつかって、ベルトやバッグをつくったことがルーツのブランド。

“オミノ”と呼ばれる小人のシグニチャーがトレードマークとなっている。エンリーベグリンは、“最高級の革と職人によるハンドメイド”がコンセプトでもあり、伝統的な手作業で一枚一枚時間をかけてなめした植物タンニンの革を使用、また高級馬具の縫製のひとつでもある“ダブルハンドステッチ製法”により、財布も職人の手により丁寧に縫われている。シグニチャーのオミノの刺繍も、職人がそれぞれの感覚で縫うため、色・形・大きさなどが微妙に違っていたりと、人の気配の感じられる趣のある仕上がりも特徴だ。収納も優秀でとても使いやすいポイント。W20×H10×D2cm。 札室×4、ファスナー式コインポケット×1、カード段×8。



LEATHER IBONA

イボーナ

〒イボーナ ☎052-325-4664
https://meishin1980.com

イタリアンオイルレザーの魅力を個性あるデザインで相乗効果的に演出

長く使うための素材選び、長く使うための飽きのこないシンプルでスタイリッシュなデザインを追求するファクトリーブランド。その自信作として推してくれたのがこちら。収納量を制限し薄型にすることで余裕のあるスマートな印象に。捨てマチ構造を採用し、丸みを帯びた印象もありながらシャープなシルエットが印象的だ。内部ポケットはやや高めの位置に付けており、スマホなどの小物が深く落ちないような工夫も。素材には日本製の倉敷帆布を採用し、強度を保ちながら軽量化も図っている。別売りのショルダーストラップを取り付けることもでき、ストラップを取り付けてもスマートに見えるように、連結部分は外から見えないようになっている。

シーンに合わせて持ち、斜め掛け/肩掛けで使い分けることができる。素材はラ・ペラ・アズーラ社の染料仕上げたオイルレザーでダブルショルダー、経年変化後の味わいが期待できる。W26×H31.5×D6.5cm。



カットアウト・うすマチバッグ
¥27,500
ショルダーストラップ18mm
¥7,920

自信作の理由

イボーナで使用するイタリアン・オイルレザーは、革らしくナチュラルな風合を存分に感じていただける半面、素材に均一性や安定感はありません。そんな癖のあるイタリアらしい素材を楽しんでいただけるようにシンプルなデザインを心がけつつ、どの製品にもどこかしら個性が感じられるつくりになっています。カットアウト・うすマチバッグはそれが顕著に感じられるデザインで、“持つ人の気分をあげる”という点でまさに自信作です。人気ランキングで常に上位になるような鞆ではありませんが、つくり手としては推したくなる一品です。(デザイナー／加藤功基)

LEATHER CAMILLE FOURNET

カミーユ・フォルネ

〒CAMILLE FOURNET銀座本店
☎03-5537-3223
https://www.cfjapon.co.jp



21.07 VERSO
ロングジップウォレット
¥165,000

自信作の理由

お財布の VERSO シリーズは “Harmony of Novelty and Originality (斬新さと独創性の調和)” ——「見えないところに贅を尽くす」というデザインコンセプトがいかされています。古来馬具製法に由来する伝統の技がモダンに調和し、カミーユ・フォルネらしい高級感のある製品に仕上がっています。(広報／遠藤訓子)



ヴォーグレネとアリゲーターの、ふたつの革の競演

時計ベルトや鞆、革小物を極上の革素材で仕立てるフランスのブランド、カミーユ・フォルネ。その自信作はフランス語で“裏側”という意味の VERSO (ヴェルソ) の名が付けられたシリーズだ。そのなかから今回ご紹介したいのがこちらのロングウォレット。ヴォーグレネという牛革カーフに型押しを施した風合いの表素材に、アリゲーターをあえて内側にポイントとして採用している。手になじみのよいヴォーグレネとエキゾチックレザーのコンビネーション、カラーのコントラストを楽しめる、カミーユ・フォルネの真骨頂ともいえる作品に仕上がっている。VERSOは、実用新案権の登録をしており、2006年の発売以来、現在でもカミーユ・フォルネのなかで首位を継続するロングセラーでもある。W21×H10cm。紙幣用マチ付きコンパートメント×2、ファスナー付きコインケース×1、フラットポケット×2、カード用ポケット×8。



LEATHER emerge

エマージュ

〒エマージュセレクト
☎03-5913-7408
mail : shop@emerge.jp

雄々しい存在感のライオンにどこか優しいニュアンスを落とし込む

東京・高円寺のショップ、エマージュセレクト。その自信作として登場したのが、このライオンロケットペンダントだ。本体はシルバー925。まずは勇壮なタテガミの造形に目を見張る。フェイスにK10、目にエメラルド、留め具部分にはダイヤモンドをセッティングし、雄々しいイメージのライオンにどこか愛らしさを感じさせるデザインがポイントだ。背面には唐草の立体造形を施しており、本体のなかにはアルミカプセルを収納。開閉可能なロケットタイプのペンダントとなっている。W2.85×H5.2cm。

自信作の理由

21年前に亡くなった父との個人的な約束を胸に刻むために、13年前に初めてつくったとてもパーソナルな動機から生まれた作品です。その後自分の技術も少しずつ成長し、もう一度この作品をブラッシュアップしたいと考えていました。LS&D No.5で紹介していただける機会があったので、ライオンの表情は一切変えずに、裏蓋やバチカン、細部をブラッシュアップし、よりよく纏まったアイテムに生まれ変わらせることができました。これほど思い入れのあるアイテムはなかなかないので、またブラッシュアップする時が来るかもしれません。(デザイナー／前野良太)

